

小児がん拠点病院の取り組み

大阪市立総合医療センター

大阪府立母子保健総合医療センター

小児がん拠点病院の役割

- (1) 地域における小児がん医療及び支援を提供する中心施設として、地域全体の小児がん医療及び支援の質の向上に資すること。
- (2) 小児に多いがんのみならず、再発したがん及び治癒の難しいがんにも対応すること。
- (3) 成長期にあるという小児の特性を踏まえた、全人的な小児がん医療及び支援を提供すること。すなわち各職種が専門性を活かし協力して、患者のみならず、その家族やきょうだいに対しても、身体的なケア、精神的なケアを提供し、教育の機会の確保など社会的な問題にも対応すること。
- (4) 専門家による集学的治療及び緩和ケアの提供、心身の全身管理の実施、患者とその家族に対する心理社会的な支援の提供、適切な療育・教育環境の提供、遊びを含む日常的な活動の確保、医師等に対する研修の実施、セカンドオピニオンの体制の整備、患者及びその家族並びに医療従事者に対する相談支援体制の整備等を進めること。
- (5) 自施設が小児がん医療及び支援に関して、優れた機能を有するのみならず、**小児がん診療に携わる地域の医療機関と連携し、これらの医療機関の診療機能を支援すること。**
- (6) 地域の小児がんに関する臨床研究を主体的に推進すること。
- (7) **地域の医療施設等と役割分担及び連携を進め、患者が発育時期において可能な限り慣れ親しんだ地域に留まり、他の子どもたちと同じ生活・教育環境の中で医療や支援を受けられるような環境を整備すること。**
- (8) 地域の中で長期にわたって、患者及びその家族の不安、治療による合併症及び二次がんなどに対応できる体制を整備すること。

今年度は特に小児がん医療の均てん化(赤字の部分)を目的とした取り組みを行った。

大阪府小児がん連携施設連絡会の強化

- 小児がん拠点病院のない奈良県、和歌山県も加え小児がん医療の均てん化を目指す。
- 専門職の育成、相談などに応じるために、定期的な症例検討会、多職種部の部会を開催

阪奈和小児がん連携施設症例検討会

- 第1回 テーマ 脳腫瘍、9演題
 - 8月13日(土) 午後1時30分～4時30分
 - 大阪大学中之島センター講義室
- 第2回 テーマ 造血器腫瘍、5演題
 - 11月26日(土) 午後1時30分～4時30分
 - 大阪市立総合医療センター会議室
- 第3回 テーマ 固形腫瘍、7演題
 - 1月14日(土) 午後1時30分～4時30分
 - 大阪市立総合医療センター会議室

阪奈和小児がん連携施設緩和ケア部会

- 第1回:9月21日(水)午後5時～7時10分
大阪市立総合医療センター一会議室 参加10施設24名
 - 事前アンケートからの現状・課題についての情報共有
 - 今後の会の進め方について合意
 - どの施設に小児がん患者が入院しても等しく医療や緩和ケアの提供が受けられるよう、また痛くて苦しむことがないように、まったく同じくというわけにはいかないだろうが、可能な限り知恵を出し合い、最善が提供できるように努めていく。
- 第2回:1月18日(水)午後5時～7時30分
大阪市立総合医療センター一会議室
 - 症例検討を中心に相互にアドバイスを実施(議事録未確定)
- 第3回:5月17日を予定

阪奈和小児がん連携施設療養環境部会

- 第1回:10月5日(水)午後5時～7時
大阪市立総合医療センター一会議室 参加10
施設17名
 - 事前アンケートをもとに、各課題について意見交換を実施
 - 食事制限、面会、学習環境、ワクチン、グリーフケアなどについて
 - 次回は、テーマを決めて話し合う。
- 第2回:3月中に開催(日程調整中)

大阪市立総合医療センター

新規の取り組み

- AYA世代小児がん患者交流会の開始
 - 孤立化しがちなAYA世代患者のピアサポートの醸成が目的
 - 昨年3月よりこれまでに3回開催
- 小児青年がん・脳腫瘍センターオープンカンファレンスの開始
 - 地域医療機関の小児がんに対する知識の普及、地域連携
 - 昨年3月より開始。年1回開催